

戦争を語りつぐ

福平小学校 五年 外園 千佳子

今年で、日本は戦後七十年をむかえます。そのため、テレビではたくさん戦争に関する報道がなされています。世界で起きている戦争のニュースや七十年前をふり返った映像、戦争で亡くなった人、障害をもってしまった人の姿などが映し出されます。わたしは、その映像を見ているうちに、気が付いたことがあります。それは、「だれ一人として笑顔でない」ということです。どうしてだれも笑顔になることのない戦争をしてしまうのでしょうか。わたしは、この映像を見て、「戦争なんてなければいいのに。」と強く思いました。

そんな戦争から七十年がたち、戦争を経験した人々の高齢化が進み、戦争が風化してしまわないようにするための取り組みがなされていることを知りました。若い世代へと戦争で体験したことを語りつぐというものです。わたしは、この取り組みを知って、わたしも戦争について知らない一人だと思いました。わたしが知っている戦争は、アニメ「ほたるのはか」で見た、今では考えられないような生活をした兄妹の姿です。男の人たちはみんな兵隊にならなければなりません。子どもも学校に行けず、戦争が終わるのを待つしかありません。しかも、戦争が終わったとしても、戦争による被害で、町は焼けこげ、住むところもなくなってしまうます。家族をなくして一人ぼっちになってしまう人もいます。けがをしても十分なちりょうを受けることができず、多くの人の大切な命がぎせいになってしまいます。アニメを通して、戦争をしていいことは一つもないことがわかります。しかし、これ以外のことは、あまりよく知りません。わたしと同様に戦争について知らない若い人たちは大勢いると思います。中には、戦争に興味がない人もいるのではないのでしょうか。わたしは、多くの若い人たちが戦争について知り、語りつぐ取

り組みに参加してほしいと思います。そうして、いつまでも戦争の恐ろしさを忘れずにいることで、これから先も、戦争をせず、平和な日本をきづいていくことにつながるのではないかと思います。

日本は今、日本の周辺各国とのりよう土問題をかかえています。お互いが自国のりよう土だと主張し、いまだ、解決していません。わたしは、このことが原因で日本と周辺の国々との関係が悪くなり、戦争につながるのではないかと心配です。しかし、戦争にならないようにするためには、できることがあります。それは、国と国との友好関係を深めることです。相手の国の文化を知り、相手の国を好きになることで、お互いを思いやる気持ちが生まれ、それが両国の平和につながるっていくのではないかと思います。そのためにも、この戦争について知り、戦争のひさんさやおそろしさをわたしたち若い世代が心にきざんでいくことが大切だと思います。戦争を二度とくり返さないために。